

宮城県建設機械リース業協会

平成 27 年度 第 3 回理事会 議事録

日 時 : 平成 27 年 9 月 16 日 (水) 12:00～13:30
場 所 : 協会会議室
出 席 者 : 菅野会長、山本、渋谷 (代理浦山)、東海林(代理伊藤)各副会長、
後藤、菅原、浦田 (代理野村)、伊藤、山本、五番 (代理千堂)、
中野(代理大塚)、小野各理事 石井監事 計 13 名 (欠席 5 名)
事務局 小原

—配布資料—

1. ホームページアクセス数 (8/31 現在)
2. 新規入会希望申請書
3. 会報「15—41 号」発刊のまとめ
4. 収支報告書 (8/31 現在)
5. 盗難調書 (8/31 現在)

会議に先立ち、渋谷副会長より挨拶があった。(挨拶要旨)

- ・ 8 月 31 日付けで、(株)大町の株式譲渡を行い、今後は(株)大町モータースの経営に専念する。それに伴い協会副会長の任を辞退することとなった。
なお(株)大町は今後も協会員として残るので宜しくをお願いしたい。又、皆さんの賛同が得られれば今後も理事 (浦山氏) として今後も対応できる。(挨拶の後、渋谷氏は退席となった。)

山本専務理事が、開会にあたり上記出席者を確認し、理事会の成立を確認した。

又、議長は定款第 13 条第 4 項の規定により菅野会長が任にあたることを報告した。

* これより、菅野会長が議長を務めた。

* 菅野会長挨拶(要旨)

- ・ 先日の大雨による洪水で被害が出ているようだ。くしくも東日本大震災の発生日時と同じ 11 日であった。
- ・ 最近機器の稼働率が停滞しているように感じられる。9 月 8 日に「建産連」による宮城県土木部への要望書提出に参加したが、要望点は下記の通りであった。

- ① 予算の確保、②施工力の確保、③品質の確保、③地元優先の発注
- ・県工事は96%が発注済だが、沿岸部は歓声が77%とのこと。金額ベースでまだ残工事も多く、今後も忙しい状況が続くとのこと。
- ・また、人材不足に対応するためIT活用取り組む。との説明もあった。
- ・リース業界の意見として「機器の継続的な提供の為に利益確保が必要。」と話した。
- ・我々業界人として利益の確保を優先させ、社員の待遇の向上につなげてもらいたい。(人材の確保に繋げるため)

以下省略

議事録署名人……(株)鈴幸建機リース菅原隆夫理事、日立建機日本(株)伊藤政浩理事
の2名を指名した。

1. ホームページについて……小原事務局長

(別紙資料の通り)

- ・ホームページ(会員専用ページ)のアクセス数が、減少傾向にある。
- ・アンケートにより、意見や希望等の調査を行い、改善に努める。

以下省略

上記について、討議の結果異議なく承認された。

2. 入会希望者について……小原事務局長

(別紙資料の通り)

- ・(株)ニッパンレンタルさんから入会希望の申請書が提出されている。
- ・場所は亘理町に出店すること。
- ・会員数は48社となる。なお賛助会員数は42社です。

以下省略

上記について、討議の結果異議なく承認された。

3. 会報「15—41号」経過布告……小原事務局長

(別紙資料の通り)

- ・皆様のご協力のお蔭で、広告協賛は予定をクリアできた。
- ・10月下旬を目指し作成に取り組んでいる。
- ・表紙の写真については「仙台みずの杜水族館」を採用したい。

以下省略

上記について、討議の結果異議なく承認された。

4. 次回開催日は、平成27年11月17日(火)12:00(協会会議室)

<情報交換>

- ・沿岸部を中心に仕事量が増加傾向にある。
- ・6月以降暇な状態だが、先日の大雨被害の影響か出庫が増加してきている。
- ・地元の仕事量、動きが少ない。
- ・高所作業車は稼働率が高い状態が続いている。
- ・排ガス仕様の需要が増えてきている。
- ・車両系の事故に関連して「貸渡書」の有無の把握が必要。
- ・大崎の営業所が被災した。9月から稼働率が上がってきている。
- ・除雪の単価について、県と仙台市の単価を同一化する動きがみられる。
- ・全体的に動きが出てきているが、「貸出責任」の問題も発生してきているので、十分な対応策が必要だ。

平成 27 年 9 月 16 日

議事録署名人

理 事

株鈴幸建機リース

菅原 隆夫

理 事

日立建日本株

伊藤 政若